

第1回合宿報告書

期 日：平成26年5月31日（土）から平成26年6月1日（日）

会 場：立川競輪場

奥多摩周遊道路 周辺

報 告 者：阿部 貴宏（東京都自転車競技連盟強化委員会強化コーチ）

参 加 者：強化指定 少年 橋詰、古田、鈴木、平塚、中村、池崎、小松

強化指定 成年 高橋、金井、谷口、伊藤和輝、菊山、今井

強化指定 女子 坂本咲、佐藤、古山

練習生 少年 小野寺

練習パートナー 昭和第一学園生徒

コーチ 大宮、伊藤、阿部、守谷（トラック・ロード2日間）

富山（トラック2日間）

斎藤（トラック初日）

指導協力 坂本健介（トラック・ロード2日間）

1. 概要報告：

少年は試験明けで、普段通りの強度の練習は、合宿まで行えていないようであったが、関東大会直前で、そこにつなげるためのコンディショニングは行ってきていたようで、全体として良いコンディションで合宿に臨めた。また、同じく合宿が試験直後で、それまで関東大会に向けた練習ができていないチーム事情があり、チーム練習を優先した選手もいたが、致し方ない状況で、所属チームで個人能力をしっかりと、仕上げてもらうように、チーム指導者にお願いをした。残念ながら、練習生として召集した、小野選手は実業団ロード合宿があるとのことで、不参加となった。

成年は、調整方向として、翌週の全日本学生個人ロードを目指す選手と、東日本学生と全日本学生トラックのちょうど中間である選手とが混在していた。そのような状況下であるが、国体へ向けた意気込みを持って、選手は合宿に向けて現状でできる限り仕上げてきていた。また、怪我で参加できない選手や、怪我でコンディションを落としている選手もいる状況であったが、国体へ向けたモチベーションを各選手が持っている印象を受けた。

女子は今回の合宿を想定していなかったが、HP を見て自ら参加してくると高い意欲を感じた。また、少し目先を変えた練習をしたところ、練習機材で500mで40秒前半で走っていた。あらためて、環境をうまく作ってやれば伸びることを確認できた。今後、正式に強化指定として発表されたので、今年度の国体合宿ではあるが、参加を呼び掛けて宿泊費などの予算を利用できないか検討が必要な事項である。

また、西村、馬渡、山本と様々な事情で参加できない選手達が、初日の夕方のミーティングには参加でき、全体の国体へ向けた共通理解と士気の向上につながった。昨年度以降、それだけ、Team TOKYO に対して、選手が意識を持ってくれるようになってきていることを感じた。